

WEEKLY Rotary 一宮中央RC REPORT

2024～2025年度 RIテーマ

ロータリーのマジック

地区方針「魅力あるクラブ 持続可能な奉仕活動 成長するロータリー」



THE ROTARY CLUB OF ICHINOMIYA CENTRAL

- 創立1990年10月31日 ●承認1990年11月16日 ●事務局 〒491-0858 一宮市栄4丁目6番8号 一宮商工会議所ビル5F
- 例会日時 毎週水曜日(PM6時～7時) TEL 0586-24-1959 FAX 0586-71-4390
- 例会場 一宮商工会議所ビル3Fホール E-mail: icrc@alpha.ocn.ne.jp URL: http://www.138crc.com
- ◇会長 大塚 省治 ◇会長エレクト 長橋 國和 ◇幹事 山田 満 ◇クラブ会報委員長 森 眞

令和7年5月14日(水)

第1580回(当年度第33回)例会

本日のプログラム

卓話

「大規模災害への対策
～命を救うために～」

おおすきクリニック
院長 大漣 祐己様

第1578回例会(当年度第31回の記録)

- 令和7年4月23日(水) 18:00～19:00
- 会場 一宮商工会議所ビル3Fホール
- 開会の点鐘 大塚会長
- ロータリーソング「四つのテスト」
- 会長挨拶

大塚 省治

皆さんこんにちは、本日も例会にご出席いただきありがとうございます。

先日の4月12日13日、本年度の目玉方針でもある委員会の垣根を超えた合同企画第3弾 大阪関西万博一泊親睦旅行企画を無事に開催できましたことご報告申し上げます。また、ご参加いただいた会員の皆様お疲れ様でした。

矢野親睦活動委員長、伴国際奉仕委員長をはじめ、各委員会の皆様、たいへんお世話になりました。開催初日の大阪関西万博を見学させていただき強い日本を感じ国際奉仕についても考えることができ、また会員の皆様との親睦が十分に図れ楽しませていただきましたこと感謝しお礼申し上げます。

さて本日は、クラブアッセンブリー地区研修・協議会報告です。先日開催されました次年度のための地区研修・協議会にご出席された皆様ご苦労様でした。本日はご報告よろしくお願い致します。

そこで、本日はロータリーの定義について調べてきたのでご紹介いたします。これだけは知っておきたい「ロータリーの基礎」1ページ目、以前のロータリーの定義ロータリーとは、「ロータリーは人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励



5月のお祝い事

- ♪会員誕生日おめでとう
森 俊一郎君(7日) 矢野 智光君(23日)
小島 三男君(29日)
- ♪会員配偶者誕生日おめでとう
柴田 節子様(25日)
- ♪結婚記念日おめでとう
伴 卓樹ご夫妻(14日) 矢野智光ご夫妻(18日)

し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した、事業及び専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体である。」とありました。最近のロータリーの定義ロータリーとは[R1提示例]「ロータリーは、会員同士の友愛を通じて生涯にわたる友を作り国や文化を超えて世界の人々と国際理解を深め友情をはぐくみます。そして、社会の倫理・道徳を高めながら、会員一人ひとりの職業のスキルやリーダーシップを生かし、地域社会や世界の問題に積極的に取り組みます。」とありました。

やはり最近のがわかりやすく、まずは友情からというが親睦からだと感じ改めてロータリーは「出席なくして親睦なし、親睦なくして奉仕なし、奉仕なくして感動なし」だと感じております。

ニコボックス(ABC順)

☆秋田敬治君 先週土曜日に尾張猿田彦神社にて、家内とともに本業と副業の商売繁盛のご祈禱をしてもらいました。2月コロナで不参加でしたので、魚辻さんも娘夫婦たち、孫たちと楽しむことができました。

☆伴 卓樹君 例会に出席できたので。

☆春木和美君 先日の親睦旅行の際、参加者全員のみなさまからニコボックスにご喜捨をいただきましたが、宴席ということもあり、メッセージも無しでした。この場をお借りして、お名前の紹介とお礼を述べたいと思います。秋田さん、岩田さん、森俊さん、長橋さん、永田さん、西岡さん、野田さん、柴田さん、内田

出席報告	会員総数	35名	
	出席会員数	26名	74.29%
	他クラブ出席数	0名	
修正出席率	前々回(4/9)	100%	

さん、山田秀さん、矢野さん、猪子さん、伴さん、井上さん、長屋さん、鈴木さん、宮本さん、そして大塚会長、山田満幹事、春木です。本当にありがとうございました。

☆井上雅樹君

例会に出席できたので。

☆小島三男君

地区研修、報告ごころうさん。

☆松前憲典君

本日は、地区研修・協議会報告よろしくお願ひ致します。

☆宮田浩二君

地区研修会、ご苦労様でした。私は、米山奨学委員会で米山奨学を学び、あらためてとても公益性のあることに気づきました。

☆森俊一郎君

本日は35周年準備委員会ありがとうございました。

☆長橋國和君

例会に出席できたので。

☆西岡則男君

健康であることに。

☆大塚省治君

矢野親睦活動委員長、伴国際奉仕委員長をはじめ各委員会の皆様、先日の4月12日13日大阪関西万博一泊親睦旅行大変お世話になり、ありがとうございました。ご参加いただいた会員の皆様お疲れ様でした。また、先日開催されました次年度のための地区研修・協議会にご出席の皆様、ご苦労様でした。桜は散りましたが、ツツジや藤の花はきれいに咲いています。

☆佐藤祐造君

☆柴田裕市君

次期年度 地区研修・協議会に社会奉仕委員長として4月20日に出席参加してきました。後ほど報告発表させていただきます！

☆内田泰潤徳君

地区研修・協議会ごころうさまでした。関西万博皆様ごころうさまでした。万博前日の道頓堀のあの見学は初めてで大変驚きました。悪い悪夢で冷めますように。

☆山田 満君

例会に出席できたので。

□クラブアッセンブリー 地区研修・協議会報告



第1分科会 次年度会長 長橋國和君

2025年4月20日(日)、2025～2026年度に向けた地区研修協議会が、名古屋マリオットアソシアホテルにて、12:30～17:00の日程で開催されました。

次年度のRI会長、マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏のテーマは、「UNITE FOR GOOD ～よいことのために 手を取りあおう」。また、次期地区ガバナー 鈴木康仁氏のリーダーシップのもと、**「ともに学び、ともに地域社会に貢献しよう」**というスローガンのもと、参加者全員が未来のロータリーに向けて理解を深める貴重な機会となりました。

基調講演では、元新型コロナ対策分科会長としても

知られる尾身 茂氏をお招きし、**「ポリオ根絶への道～これまで、これから」**というテーマでご講演いただきました。グローバルな保健課題に対するこれまでの取り組みと、今後の展望について、非常に示唆に富んだ内容でした。

また、第1分科会では、危機管理およびマイロータリーに関する具体的なお話があり、クラブ運営に欠かせない実践的な知識とノウハウが共有されました。

第2分科会 次年度公共イメージ向上委員長 山田満君

第2分科会の研修・協議会の目的は、「①次期クラブリーダーが次年度の役割に備え、チームの協力体制を整える。②ガバナーエレクト、次期ガバナー補佐、次期地区委員長が、クラブのリーダーシップチームとの協力関係を築き、意欲を鼓舞する。」でした。そこで、公共イメージ向上の必要性、方法と活動内容について説明がありました。

公共イメージ向上の目的として、ロータリーの目的・活動が正しく・広く社会に認知されるためには、共感者を増やし、参加者の基盤（行政・団体・市民など）を広げ、ロータリーのビジョンの実現に近づくため、よりよい奉仕事業の公表を行い広めることにより、人々の理解が深まり、協力者や会員の増強につながり、会員のモチベーションアップに繋がる話でした。

公共イメージ向上の具体的な方法としては、テレビ・新聞・雑誌／ホームページ／SNS／口頭などの手段を用いて、ストーリーを伝え、ターゲット（若者、地域の経営者層など）を意識して、効果的な画像を使い、奉仕活動を内外に伝えることを学びました。あとMy Rotaryの活用の話もありました。そのあと、フリートークが15分程度開催され、隣のクラブの方々も公共イメージ向上の手法として現在何を行っているかディスカッションがあり意見交換を行い発表しました。他クラブの取組の話も聞くことができましたので、当クラブでも参考にさせていければと思います。

最後に、ロータリーの友について、公式は情報誌でありロータリアン向けの情報誌の説明がありました。またデジタル化しており、ウェブサイトで「ロータリーの友」で検索でき、ID、パスワードは毎月事務局に案内されているとのことでした。購入費は、会員数でお願いしたいとお話がありました。以上、一宮中央ロータリークラブの2025-26年度の公共イメージ向上の発展につなげていきたいと思っています。



第3分科会 次年度国際奉仕委員長 秋田敬治君

テーマ：広めようロータリー・奉仕の力

次期地区国際奉仕・渡邊委員長から3年目の委員長年度として次年度以降に引継ぐ為「地区国際奉仕委員会」活動の今後の進め方のまとめをしていきたいとリーダー挨拶があった。岩瀬次期地区国際奉仕委員から、地区の事前アンケート結果では地区内84RCで海外と連携した国際奉仕活動が実践できているRCは半数

もなく、外国語が堪能な会員も176人と限られ、海外リソース（海外拠点・取引先他）を持っている会員も40人という少ない状況で、今後は「国内でもできる国際奉仕」を模索し、海外との交流を地域に展開していく機会を提供する活動にも取り組んでいきたい、又鈴木次期地区国際奉仕副委員長からは「海外での奉仕活動のパッケージ化」を企画し、複数のRCが共同で取り組める活動も進めていくと提案がありました。今回改めて一宮中央RCの14年に及ぶカンボジア教育支援の国際奉仕活動の意義を感じました。



第4分科会 次年度社会奉仕委員長 柴田裕市君

テーマ「地域社会を支えるために、共に学び、共に成長しよう。地域の未来を共に創造するために」

澤田次期地区ロータリー奉仕委員長の挨拶で始まりました。続いて、加藤、片平、高橋各次期社会奉仕副委員長からアシスタント活動報告と方針説明がありました。要するに希望に満ちた未来の実現に向かって絆を深め奉仕の歯車を力強く廻そうとの事でした。

来期は年度内に地区社会奉仕委員長会議を年2回招集、開催し年度末には活動現況調査、報告、提出を義務化したいとの事でした。又、地区社会奉仕部門として各クラブから卓話の要請があれば応じてゆきたいとの事、そして最近では環境保全の面から美化、清掃、植樹等をしてタイムカプセルを使用するところも出てきている傾向との事でした。

又、地域社会共同隊（RCC）として社会世間一般の奉仕団体をRCが共同協力して、地域社会を支えるために、共に学び、共に成長しようとの奉仕団体が活発化しているとの事です。最後に質疑応答、意見交換があり、伊藤次期ガバナー補佐の講評で終了しました。



第5分科会 次年度奉仕プロジェクト委員長 森眞君

第5分科会のテーマは『われらロータリアン力を合わせて地域に奉仕「職業奉仕」の心のもとに』です。冒頭、加藤次期地区職業奉仕委員長は、二宮尊徳の言葉「道徳なき経済は犯罪であり、経済なき道徳は戯言である」を引用、さらに『論語と算盤』を書き著した渋沢栄一にも触れ、ロータリーの目的の第2「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリア

ン各自の職業を高潔なものにすること」すなわち、我々会員が各々の職場において道徳的経済の実践をこころざすことを職業奉仕の本旨と捉え、次年度を進める方針とされました。そして、幸いにもロータリー会員にはハーバートJテラーから提供された「四つのテスト」という実効性が極めて高い指標があり、これに照らして自らの経営を省みることが、同時に社会に奉仕することの実践に繋がると説かれました。

続いて委員会メンバー二人から、実際にそれぞれの企業において、「四つのテスト」に照らし合わせて得られた改善点を、職場に反映させる試みが続いている状況報告がありましたが、双方とも自身の企業が確実に良い方向へ変化しつつある手ごたえを感じている喜びが伝わる内容でした。

その後、岩村次期地区職業奉仕副委員長から、今回の委員会メンバーによる発表を参考に、各クラブの例会においてもぜひこれを実施していただきたいとの要望があり、最後にマイクを持った本多次期地区副幹事は、これほど有効な時間を過ごせたことに感謝すると講評されました。場を共にした私にとっても、たいへん刺激を受ける素晴らしい分科会であったことを報告いたします。

第6分科会 次年度ロータリー財団委員長 梶原誠二君

第6分科会では「ロータリー財団を学び活用しよう」をテーマに、加藤博巳次期財団委員長（岡崎RC）がリーダーを務め、117名が参加しました。加藤委員長は、日頃の寄付への感謝を述べた上で、地区補助金の申請が75クラブと過去最多となり、クラブ活性化につながる活用を期待していると述べました。また、ポリオ根絶活動の推進として、10月6日のチャリティーゴルフや、10月24日世界ポリオデーへの協力が呼びかけられ、啓発用の募金箱やのぼり等の貸出案内も行われました。資金管理については、酒井法次期資金管理委員長（豊田RC）が、補助金の申請から終了までの適正な管理の重要性を説明し、ルールに沿った運用と、未活用クラブへの積極的な参加を促しました。さらに、宮田勇人次期資金推進委員長（岡崎RC）は、ロータリー財団は寄付のみで運営されており、年次基金、ポリオプラス、恒久基金の各寄付の役割を説明しました。恒久基金は運用益のみを活用するもので、長期的な財団活動の基盤となります。来年度の寄付目標は、年次基金150ドル、ポリオプラス30ドル、恒久基金1クラブあたり1,000ドルとされ、各クラブの協力が求められています。その他、時間一杯まで奨学生や職業研修、ロータリーのクレジットカード等の説明がありました。とても多様で消化しきれないほどの内容での研修会でした。今後少しずつでも理解を深められるよう努力してまいります。



第7分科会 次年度青少年奉仕委員長 長屋 慎二君

第7分科会の青少年奉仕は、「貢献しよう 青少年



と共に・・・」のテーマで開催されました。

堀井次期地区副幹事から始まり、その後は、インターアクト、RYLA、青少年交換、学友、ローターアクトの5委員会それぞれの委員長から次年度の活動方針の発表がされました。

インターアクトとローターアクトを提唱しているクラブ、RYLAセミナーへの参加、青少年交換のホストを務めているクラブがありますが、次年度は全てのクラブが何かの青少年活動に携わって欲しいとお願いがありました。

今回は当クラブが活動を行っているインターアクトとRYLAについて報告させていただきます。現在インターアクトは、50年以上の歴史となりましたが、地区のインターアクトは19クラブあり593名在籍、30の提唱クラブがかかっています。中学校・高校在学中の生徒、又は12歳から18歳までの青少年を対象に19校の学校の生徒と交流しながら4つの奉仕活動を通じて将来のリーダーとしての行動力を身に付けることを目的としています。今後は、顧問の先生と連携しながらインターからローター、RYLAから青少年交換と繋げていく事を視野に取り組んでまいります。

RYLAでは、2026年3月20日に蒲郡でRYLAセミナーを行います。テーマは、「縁と絆を深めよう」です。特に一宮地区の方から受講生を出してもらいたいとお願いがありました。

今後は、積極的にRYLA、学友、ローターアクトについて体験しながら知識を増やしていきたいと思える分科会でした。

第8分科会 次年度米山記念奨学委員長 宮田浩二君

米山奨学事業は、世界と日本をつなぐ人材育成の制度。世界でも稀なこと。きわめて公益性の高い事業なので、米山奨学事業への寄付金を働きかけてほしい。遺言寄付もあり、相続税の優遇措置もあります。

地区委員会のかたの説明内容として、米山奨学生は、日本人の真の友人をつくりたい。ロータリークラブメンバーは、一緒に遊んだり人生の相談にのってほしい。ロータリーメンバーは、ただでさえ強面の方が多いため、カウンセラーが笑顔でとりもつことが大切です。

研修の中で、グループに分かれて、各グループごとの討議をしましたが、女性の奨学生は、女性のカウンセラーがよいが、男性ばかりのロータリーメンバーのときは、どうするのか課題もありました。

興味深かったのは、米山学友の恩返しがあり。最も多額の寄付金はアメリカ在住の中国人周順桂さんで50万ドル(約6885万円)とのこと。 (米山学友会は、米山奨学生を輩出した133カ国の24,000人とのこと。)

第9分科会 入会3年未満新会員 石岡歩君

第9分科会では、テーマ「ロータリー120年の歴史と変化を学び、ロータリーの理解を深めよう!」につい

て講演を受けました。

まず吉川公章ガバナーより「ロータリー120年の変遷」と題し、シカゴロータリーの発足からハーバードテイラー氏による4つのテストの始まりについてなど、ロータリー活動の根幹となる史実を講演いただきました。

次に石井弘子次期ファシリテーターより「ロータリーの変わらぬマナー」と題し、3つの義務を全うすること、わからないことは先輩ロータリアンになんでも聞いてみるのが重要だと教示いただきました。

最後に酒井法丈バスターガバナーより「私のロータリー観」と題し、ロータリーの魅力や寄付事業の重要性など多くの参考になる経験談をお話いただきました。講演の内容に違いはありましたが、共通していたのは「まずは楽しむこと!」でした。この一宮中央ロータリークラブで、私も全力で楽しく!活動してまいります。



第1579回例会(当年度第32回の記録)

- 令和7年5月10日(土)~11日(日) ※7日の例会変更
- 第2回ロータリーフードフェスティバル
- 会場 名古屋・栄 久屋大通公園
- サイン受付 なし



出席 報告	会員総数	35名	
	出席会員数	35名	100%
	他クラブ出席数	0名	
	修正出席率	前々回 (4/12)	100%

2025年5月21日(水) 休会(定款7-1d)

次回 2025年5月28日(水)の例会予定

イニシエーションスピーチ
石岡歩君・西島琢也君・宮本万貴君